

2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(法人の名称:特定非営利活動法人わっこ谷の山福農林舎)

1 事業実施の方針

- ・ 地域資源(農業・林業・福祉・教育・エネルギーなど)を横方向に結び、誰もが自分の力を発揮できる暮らしやすい地域、かつ持続可能な社会をつくることを目的とする。
- ・ 障がいのある人、生活困窮者の就労支援、および相談支援を行う。
- ・ 遊休荒廃地を利用した農業振興を推進する。
- ・ 木質バイオマスボイラ運用に伴う松枯れ材のエネルギー活用を図る。
- ・ 自然体験を通じた交流人口増加のための取り組みを行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の 人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位:円)
社会福祉を目的とした事業の企画・運営事業	引きこもり者、不登校者、発達障がい者等を対象とした相談、居場所支援、余暇支援、当事者活動支援	(A) 週5回 (B) 筑北村 (C) 4名	(D) 筑北・麻績村民 (E) 30名	2,493,509円
障害のある人などの就労支援および雇用促進、福祉就労のための事業	認定就労訓練事業	本事業年度は実施無		
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 地域活動支援センター事業・自立生活援助事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 8名	(D) 筑北・麻績村 (E) 40名	16,081,738円
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	特定相談支援事業・一般相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村 (E) 50名	1,787,021円
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障害児相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村 (E) 5名	202,115円
介護保険法に基づく居宅介護支援事業	居宅介護支援事業	今事業年度は実施予定なし		

森林の利活用推進事業	支障木、枯れ木等を利用した薪販売事業	(A)通年 (B)筑北村西条(加工場所) (C)14名	(D)筑北村・麻績村、近隣自治体住民 (E)6,500人	5,574,167円
森林の利活用推進事業	松枯れ木伐採及び作業道の整備等	(A)通年 (B)筑北村・麻績村 (C)14名	(D)筑北村・麻績村村民 (E)6,500人	7,580,383円
自然体験・環境教育事業	自然体験・環境教育の実施	(A)通年 (B)国内 (C)13名	(D)国内 (E)75名程度	60,917円
観光・地域振興に関する事業	地域の困りごと(草刈・公園管理・圃場の整備・空き家管理等)の代行サービス	(A)通年 (B)筑北村・麻績村内 (C)15名	(D)筑北・麻績村村民 (E)167名	5,262,953円
	自然体験を通じた交流人口増加のための取り組み	本事業年度は実施なし		
	遊休荒廃地における古代麦・ケールおよび桜花木の生産研究事業	(A)通年 (B)筑北村坂北原・および坂北中村 (C)15名	(D)地権者 (E)10名	733,754円
農林業の振興に関する事業		本事業年度は実施なし		
本条第1号から第10号に係る研究事業	農林業・社会福祉活動に関わる将来のための研究事業	本事業年度は実施なし		
本条第1号から第10号に係る人材育成のための教育研修事業	技術研修等	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)50名	50,000円
本条第1号から第10号に係る普及啓発、政策提言、コンサルタント事業	講師派遣 コンサルタント派遣	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)300名	50,000円
その他第3条の目的を達成するために必要な事業	農林業・福祉・教育・観光などの連携に関わる事業	本事業年度は実施なし		

2022年度わっこ谷の山福農林舎 事業報告書

1. 期間

2022年4月1日～2023年3月31日

2. 重点目標

- ① ストープ用薪増産
- ② りんご生産開始
- ③ 製材業務拡大
- ④ はじめの一步
- ⑤ 麻績村基幹相談支援センター
- ⑥ 教育・研修拡充

3. 2022年度事業概要と総括

法人開設4年目となる本年は、農業部門でりんご園の管理を開始するとともに福祉部門では基幹相談支援センターを開設し、それぞれの分野で新しい取り組みを進めた一年となった。事業拡大に伴いスタッフを増員し、日々6人～7人体制での事業運営となった。

林業部門では業務提携事業者と役割分担の上での中規模施業件数が増加した。薪ボイラ運用では年間6万㍓と灯油削減を実現するとともに、年間95トンの間伐材を燃料として供給することができた。

経営面では総収入は約20%増加した。支出は新規事業と人員拡充、業務委託費、農業部門の支出が増えたことで、利益幅、労働生産率は前年に比べて減少したが、次年度以降への投資としての支出増としてとらえることが出来る状況にある。

雇用環境整備は定期昇給や賞与規程改訂を通じて継続して進めることができている。

4. 各事業（重点目標）の詳細

- ① ストープ用薪増産
 - ・ 昨年比42%の受注増となり、売上げは31%増、増産、増収を実現することができた。
 - ・ 在庫不足により販売を断るケースもあり、供給不足への対応と原木確保が課題である。
 - ・ より効率的な生産、乾燥工程に向けた取り組みが必要である。
- ② りんご生産開始
 - ・ 合計1トンの収量があり、ネオニコチノイド系農薬不使用のもと大きな病気もなく栽培ができたことが成果であった。
 - ・ ネットショップや直売所、関係者で全量出荷ができたこと、加工品としてジュースの試作も行ったことは良かった。
 - ・ 課題として6反の圃場に対して、実質的に2反部程度の本数ため、草刈りや消毒に係る手間が大きく、収益には結びつかず年間を通じて大きな赤字となった。
 - ・ 複数年計画での収支計画を立案したところ、8年目から利益がでる計画となる。当面は作業の効率化と苗木の生産や植樹、高値で取引ができる商品生産を主眼に進めていく。
- ③ 製材業務拡大
 - ・ 週2回の定期的な製材体制を整え、安定的に製材を行う体制づくりを進めることができた。
 - ・ 地域工務店による製材講習会を合計3回開催し、地域内で必要とされる用材の製材方法を工務店目線から考えるきっかけとなった。
 - ・ 賃挽きや木工製品の依頼に応じて対応し、地域内での周知を進めることができたが実際の利益にはつながっていない状態である。
 - ・ プレーナーや卓上鋸の導入によりクオリティもある程度まで高まっている。
- ④ はじめの一步
 - ・ 就職へのイメージや職業準備性が整っていないメンバーを中心に精油作業、ごはんづくり通じたはじめの一步への支援を進めることができた。
 - ・ 定期的に作業に携わることができるメンバーの数も増加している。
- ⑤ 麻績村基幹相談支援センター
 - ・ わっこ谷全体の相談支援体制整備のために麻績村、筑北村、生坂村福祉関連課合同での研修機会の設定や協議を重ね、2023年度より筑北三村合同での基幹相談支援センター、及び地域協議会を設置することで合意に至った。
- ⑥ 教育・研修拡充
 - ・ 視察受入れ、教育連携事業は昨年比60%増となり、多くの視察受入れを行うことができた。

5. 各事業の状況

□ 農業・林業・おてこ衆・教育連携事業

↓ 農業

- ・ スペルト小麦生産

獣害を避けるためにテグスを電柵間に追加設置したことにより食害は見られなかったが、

- 麦自体に赤カビが発生し、出荷を全量見合わせる事となった。
- ・ 花木生産
今年度も出荷するレベルには達せず出荷は見送った。
- ・ にんにく生産
追肥を忘れたことで生育悪く、主に直売所での販売となった。圃場を変更し種を入れ替えて今年度は作付を行った。
- ・ ケール生産
連作の影響か収量は前年の約6割、蛾の発生も止めることはできなかった。次年度は圃場入替えを行う。

📌 林業

- ・ 伐採
伐採件数は前年より増加(47件)、収入は前年度を大きく上回った。GTB、縁屋との連携による中規模伐採業務が大きく増えた。
- ・ 薪製造
※重点目標欄に記載
- ・ 薪ボイラ運用
年間6万㊦の灯油削減、年間95万トンの間伐材の燃料利用を実現した(昨年比23%増)。西条温泉とくらスタッフによる投入に関して役場と折衝し次年度より実現する運びとなった。また薪単価の増額見直しを行った。
- ・ 精油
自社サイトを含め9か所での販売を行い、前年より大きく収入を伸ばすことができた。次年度はパッケージと商品内容をリニューアルしてさらに販売量を増やしていきたい。

📌 おてこ衆

- ・ 前年より40%増(127件)となり、一昨年度より作業件数、売上ともに大きく増加した。里守師との連携業務を継続している

📌 教育連携事業

- ※重点目標欄に記載

□ 福祉事業

📌 就労継続支援B型事業

- ・ 農林業・代行サービス・ボイラ運用
- ・ 実利用人数は8-10名程度とほぼ同数だが、作業参加できる日数が増加傾向。

2022年度延利用者	2021年度延利用者	2020年度延利用者
1,579名	1,432名	1,249名

📌 地域活動支援センター事業

- ・ 働く準備が整っていない利用者に対して居場所を提供、当事者支援・軽作業・レクリエーション、個別プログラムを実施

2022年度延利用者	2021年度延利用者	2020年度延利用者
980名	922名	541名

📌 相談支援事業

- ・ 前年比25%減、障がい児相談件数が増加している

【計画相談】

2022年度延利用者	2021年度延利用者	2020年度延利用者
97名	119名	158名

【一般相談(移行・定着)】

事業	2022年度延利用者	2021年度延利用者	2020年度延利用者
地域移行	6名	10名	14名
地域定着	48名	36名	52名

📌 自立生活援助事業

- ・ ひとり暮らし、もしくは家庭での支援が十分でない利用者への支援
- ・ 契約者：9名

2022年度延利用者	2021年度延利用者	2020年度延利用者
96名	107名	102名

✚ 移動支援支援事業

- ・ 放課後デイサービスへの送迎、寮への送迎を主に実施。年々ニーズが高まって来ている。
- ・ 登録者 6 名

2022 年度延時間	2021 年度延時間	2020 年度延時間
460 時間	372 時間	48 時間

✚ 自発的活動支援事業

- ・ 補助事業 3 年目、当事者グループが独立することができた（わっこスポーツクラブ/発達・精神）。
- ・ 次年度以降は当事者グループ伴走支援を行う（わっこさーくる/知的）
- ・ 普及啓発活動として当事者団体研修会、見学会、講演会を開催。

【内容】※（）内は参加者数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
花見外出 (8) ヨガ (2) ごはんカフェ (18) ダレデモごはん (17)	卓球 (8) ウォーキング (2) ごはんカフェ (10) ダレデモごはん (15)	バドミントン (3) ヨガ (2) ごはんカフェ (25) ダレデモごはん (20)	バッティングセンター (7) 四賀結ぶ市 (2) 管理栄養士勉強会 (2) ごはんカフェ (8) ダレデモごはん (25)	BBQ、流しそうめん (21) ヨガ (2) ダレデモごはん (15)	卓球 (9) 長野県障害者文化祭 (2) ウォーキング (2) ごはんカフェ (12) ダレデモごはん (19)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
バドミントン (12) ヨガ (2) ごはんカフェ (12) ダレデモごはん (21)	アルプス安曇野公園 (2) ダレデモごはん (19)	バドミントン (7) ごはんカフェ (11) ダレデモごはん (24)	講演会 (40) ボウリング (2) トランプ (3) ごはんカフェ (13) ダレデモごはん (19)	次年度話し合い (2) ごはんカフェ (13) ダレデモごはん (24)	バドミントン (8) たこ焼き会 (3) ヨガ (3) ごはんカフェ (13) ダレデモごはん (23)

□ 理事会等

日付	項目	内容
5/23	内部監査①	2021 年度事業報告・決算
5/26	第 1 回理事会	2021 年度事業報告・決算
5/26	通常総会	2021 年度事業報告・決算
6/21	第 2 回理事会	役員改選
10/25	内部監査②	上半期監査
10/27	第 3 回理事会	上半期報告
1/30	第 4 回理事会	A 型事業所・基幹相談支援センター 事業計画案・賞与案
3/30	第 5 回理事会	2023 年度事業計画・予算 西条事務所購入・A 型/B 型運用・賞与規程改訂・職員給与等

- 補助事業・助成金等
 本年度は大きな補助事業、助成金の利用はなかった。

月	補助事業等名	金額	詳細
1月	赤い羽根共同募金	¥100,000	地域活動支援センター備品類
2月	新型コロナウイルス補助金	¥92,000	福祉施設向け助成金

6. 出来事

日付	内容	詳細
4/8	信州ふっころプラン冊子掲載	長野県社会福祉協議会
4/12	朝日新聞取材	遠藤記者、「まていな暮らし」
5/10	全国農業新聞取材	農福連携
5/23	内部監査	久保田房男氏
5/26	第1回理事会・総会	2021年度事業報告、活動決算
6/2	早稲田・三重大学FW	農とSDGsの実践について
6/13	視察受入れ	松川村地域おこし協力隊
6/21	第2回理事会	役員改選
6/23	長野大学講義	持続可能な人生をデザインしよう
6/29	信濃毎日新聞	ダレデモごはん
6/30	長野大学FW	摘果作業、まな板づくり、にんにく収穫
7/1	信濃毎日新聞掲載	長野大学FW
7/1	精油販売開始	3店舗
7/4	製材研修	(株)ローカルクラフト 桐原満氏
7/7	当事者会研修会	ピアンテナ
7/21	プルーン販売開始	直売所
7/23	シンポジウム登壇	日本介護福祉士養成施設協会
7/28	視察受入れ	森のエネルギー研究所
8/5	中信地域産業経済動向掲載	松本信用金庫機関誌
8/28	新聞折り込み広告	筑北村・麻績村
9/1	三重大学院生インターン受入れ	卒業研究・2か月間(-10/31)
9/9	視察受入れ	岩手県一戸町地域おこし協力隊員
9/15	薪ボイラメンテナンス	森の仲間たち
9/20	補助申請	小規模事業者持続化補助金・刈払機電動化
9/21	車両名義変更	サンバー、ユニック、筑北村社協→山福へ
9/28	筑北三村勉強会	総合相談支援事業について
10/11	製材研修	山田工務店、計3回
10/25	内部監査	島田頼信氏、上半期報告
10/27	第3回理事会	上半期報告

10/28	聖南中学校交流事業	きささげ収穫、23名参加
11/11	筑北三村勉強会	地域協議会
11/15	長野県知事表敬訪問	農福協会皆川氏、村木氏、アワード受賞3団体
11/28	視察受入れ	森のエネルギー研究所
12/5	SBC ニュースワイド取材	農福連携
12/7	厚生労働省ヒアリング	農福連携と困窮者支援
12/12	安心ネット監査	筑北村住民福祉課
12/16	農福連携フォーラム登壇	東京、300名参加
12/19	長野刑務所フォーラム登壇	累犯障がい者支援について
12/20	虐待防止フォーラム	主催、麻績交流センター、野澤和弘氏
12/21	木曜会	議員8名に山林整備と山福事業の説明
1/13	視察受入れ	群馬県みどり市、高崎市、13名
1/14	自発的活動支援講演会	子ども・若者さぼーとハミング 高橋泰広氏
1/18	視察	中川村地活センターくらしごと
1/27	マキタ電動ツール納品	電動チェーンソー×1、電動刈払機×3
1/30	第4回理事会	就労A型開設、基幹センター受託、2023年事業計画
2/13	長野大学実習生受入れ	社会福祉士事前実習、3日間
3/22	中川村フォーラム	松本圏域自立支援協議会人材育成費用活用
3/23	視察受入れ	関東農政局農村計画課長他2名
3/30	第5回理事会	2023年体制

7. 数値

① 素材生産、請負業務等の状況

項目	2022年度	2021年度	2020年度
薪販売	57件	40件	36件
ボイラ薪製造	95,031 kg	76,282 kg	43,984 kg
木の駅集荷	147 m ³	76.8 m ³	144 m ³
圃場整備	85件	58件	75件
竹林整備	2件	0件	2件
伐採	47件	33件	42件
木材・原木販売	10件	8件	6件
庭木剪定	16件	6件	34件
農林作業補助	66件	19件	16件
公園管理業務	9件	9件	9件
雑工事	12件	5件	3件
古代麦収穫	0 kg	600 kg	252 kg
ケール収穫	1554 ケース	2621 ケース	
精油販売	28件	1件	
農作物販売	109件	17件	
きささげ収穫	188 kg		137 kg

花木作付（桜）			
視察受入れ	7件	7件	7件
講演会・講義等	8件	10件	4件

② 雇用者数

常勤5名、パート3名、日々雇入5名

2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
14名	14名	13名	10名

③ 福祉就労者数

障害種別	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
知的障がい	6名	6名	5名	5名
精神障がい	11名	7名	5名	3名
引きこもり者	3名	4名	3名	1名
合計	20名	17名	13名	9名

・ 企業就職者：3名

④ 会員数

会員数は微増傾向

種別	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
正会員	22名	23名	17名	14名
準会員	4名	4名	6名	18名
賛助会員	39名	34名	65名	53名
賛助会員（団体）				1者
合計	65名	61名	87名	86名

⑤ SNS投稿（フェイスブック）

項目	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
投稿数	100件	63件	81件	66件
オーディエンス	477名	426名	333名	228名

SNS投稿（インスタグラム）

項目	2022年度	2021年度	2020年度
投稿数	100件	74件	92件
オーディエンス	274名	204名	120名

⑥ 福祉事業利用者数

事業	2022年度	2021年度	2020年度
就労継続支援B型	8名	9名	7名
特定相談支援	48名	44名	55名
自立生活援助	9名	10名	10名
一般相談支援	5名	8名	6名
地域活動支援センター	28名	22名	18名
移動支援	6名	5名	4名
あんしんネットワーク	4名	5名	0名
障害区分認定調査	0名	17名	5名
合計（重複含む）	108名	120名	105名

8. 決算（別紙参照）





